

一勝地小だより

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>

第1号
R4.4.14発行
文責：梅本 和高



令和4年度が始まりました

今年は、ヤマザクラもソメイヨシノもほぼ同じ時期に咲きました。菜の花の黄色も鮮やかでした。お天気はあいにくの雨で残念でしたが、14 人の子供たちが入学し、賑やかな一勝地小学校がスタートしました。

始業式では、「思いやり」について話をしました。子供たちには、たくさんの優しさがあります。もちろん子供なりではありますが、自分なりに一生懸命努力し、まじめに頑張っています。そんな行動や考え方を認め・ほめ・励まししながら、思いやりの心を育てていきたいと思っています。

そして、これまで一勝地小学校を支援していただいた保護者や地域の方々にもお返しができるようにしていきたいと思っています。

本年度も、様々な場面で御協力をいただいたり、御迷惑をお掛けしたりすることがあるかもしれませんが、保護者の皆様、地域の皆様とともに子供たちの成長を支えていく決意です。令和4年度が、子供たちの成長にとって充実したものになりますよう、一勝地小学校職員一丸となって教育に当たっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



学校教育目標について

ふるさとを愛し、心豊かで、たくましく、共に学び合う児童の育成
～**思いやり**で一人一人が輝く一勝地小～

報道にありますように、一勝地小と渡小、球磨中は、令和 6 年度に義務教育学校となることを目標に準備を進めていくことになりました。そこで、3 校の学校教育目標を統一し、同じ目標に向かって取り組んでいくこととなりました。この目標には、以下の 4 点の思いが込められています。

- (知) 自ら学び続ける子供
- (徳) 思いやりがあり、命をつなぐ子供
- (体) 心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬく子供
- (郷土愛) ふるさとを愛し、地域とつながる子供

一勝地小学校では、特に、思いやりの心を育てることに重点を置き、子供たち一人一人が自分の良さを発揮し、活躍できる学校を目指していきます。この「思いやり」をキーワードに一点突破で取り組んで参ります。保護者の皆様も、御家庭で「思いやりの心」について話題にいただければありがたいです。

教育活動の**一層**の充実に向けた取組について

本年度、一勝地小学校では、複式学級が2学級（2・3年と4・5年）となりました。渡小学校も4・5年が複式学級です。昨年度の学校評価で、保護者の皆様が1つの教室で2学年が同時に学習する複式授業に不安をもたれていることが分かりました。

そこで、以下のように授業形態を工夫していきます。

1 集合学習

一勝地小・渡小ともに4・5年が複式学級であることから、国語と算数（5年生は家庭科も）について、4年生は一勝地小学校で、5年生は渡小に移動して、単学年で学習をします。

【例】	渡小学校		一勝地小学校	
	4年生	5年生	4年生	5年生
1校時	国語 ※一勝地小で学習	国語 ※渡小で学習	国語 ※一勝地小で学習	国語 ※渡小で学習
2校時	算数 ※一勝地小で学習	算数 ※渡小で学習	算数 ※一勝地小で学習	算数 ※渡小で学習

2 合同学習

2・3年が複式学級であり、生活科や理科、社会科について学年によって学習する教科が違います。そこで、生活科や体育については、1・2年合同で学習を行い、その時、3年生は単学年で理科等の学習を行います。

3 復興支援加配教員及び教頭の授業

担任外である復興支援加配教員と教頭が複式学級の1学年の教科を担当することで、単学年で学習を行います。

4 中学校との連携

中学校との連携による取組として、6年生の外国語や音楽等の授業を中学校の先生に専門性の高い授業をしていただく取組も行います。

このような取組を行うことで、1つの学級に複数の教員が関わることができ、全ての職員で全ての子供たちを見ていく体制を作っていきます。

よろしくお願いします～職員紹介～

担当	氏名	担当	氏名
校長	梅本 和高	復興支援加配	簗田 舞（育児休業から復帰）
教頭	永田 博弥	養護教諭	後藤 歩未
1年	西嶋 瞳	事務主幹	北里 好子
2・3年	礒田 留美（人吉東小から）	支援員	久保寺 睦美
4・5年	鎌田 嗣	支援員	中村 優里（渡小から）
6年	酒井 克己	支援員	境目 優香（新規採用）
なごみ	山田 和弘	安全管理員	大無田 諒子（新規採用）
	中林 彩華（武蔵ヶ丘北小から）	教員業務支援員	村松 広明（渡小と兼務）